

順位	氏名（議席）	発言の要旨
20	石川 浩司（4）	1. 持続可能な公共交通の在り方と今後について コロナ禍以降、全国の公共交通の基盤が大きく揺れ動いています。 全国の公共交通は、マイカーの普及や人口減、少子高齢化などを背景に、乗客減に歯止めがかからず、廃止距離は増加し、運転手が高齢化する中、他業種と比べて給与が低いなどの事情から担い手が足りず、路線廃止、減便に踏み切る例が目立っております。これまでは人口減少が続く地方の過疎地の問題とされてきましたが、運転手不足などが原因で都市部でも路線の廃止や縮小が相次いでいます。 本市でもこの問題に直面し、富士市地域公共交通計画を令和3年3月に策定し、取り組んでいます。しかしながら、公共交通をめぐる環境は厳しく、路線の廃止などが現実になってきております。暮らしの足を確保するため、持続可能な公共交通の在り方と今後について本市の取組を含め以下質問します。 (1) 既に山梨交通の路線が一部9月末で廃止になり、もう一つの路線も本年を目途に廃止したい意向があるようだが、どのような経緯からか。また、これまで事業者並びに関係市との協議はどうしてきたのか。 (2) 公共交通（路線バス）の廃止は市民に影響があると考えるが、廃止になった路線に対してどのような対応をするのか。 (3) 本市の公共交通への補助金の今後の方針は。 (4) 持続可能な公共交通を考えると、補助的な役割であるデマンドタクシーや地域で考える移動手段などとの連携はどのように考えているのか。